

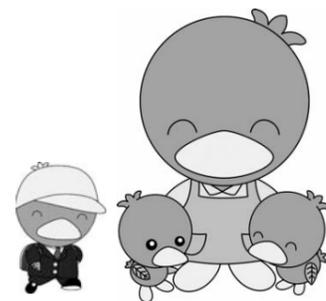


議長



平成29年度 予算 可決

一般会計 43億3,698万円



美里MSEムリン

ますます厳しくなる町財政 将来を見据えたたまちづくりの重点

平成29年第1回美里町議会定例会が、3月1日～21日までの21日間の日程で開催されました。平成29年度の一般会計予算をはじめ6つの特別会計・水道事業会計のほか、平成28年度の補正予算や条例の一部改正等の議案審議と、5名の議員による一般質問が行われました。

平成29年度予算の主な施策

平成29年度は長期にわたって実施してきた重点施策が実を結び「さらに飛躍する年度」と位置づけし関連予算が計上されました。

主要事業としては、平成29年度末のスマートICの開設を目指し、スマートIC整備事業として1億4439万円。また、産業団地整備事業については、平成29年度早々の造成工事着手及び平成30年度の分譲に向け、関連予算が計上されました。

新規事業としては入学準備金・奨学金貸付事業、読書した本を記録する読書手帳の配布、結婚新生活支援事業、健康ポイント事業を実施するための予算が計上されました。

歳入

町税16億6467万円、地方消費税交付金1億7000万円、地方交付税7億4000万円、国庫支出金4億5143万円、県支出金3億1408万円などが主な財源です。

歳入の前年度対比の状況は、町税が法人町民税等の減収により1275万円の減となっています。また、国庫支出金が3709万円、県支出金が2435万円の減となるなど町財政はますます厳しくなっています。

歳出

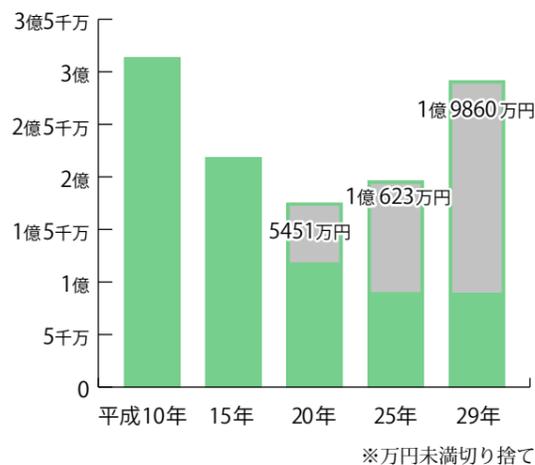
総務費7億799万円、民生費14億6134万円、土木費4億7447万円が主なものです。

歳出の前年度対比の主な状況は、寄居PAスマートIC事業費等が減少したことにより、土木費が5278万円の減、また、防災行政無線関連事業等が終了したことにより、消防費が6105万円の

地方債の元金償還金の推移 (臨時財政対策債)

臨時財政対策債とは

地方一般財源の不足を補うために特例として発行される地方債。償還費用は全額国が負担する。地方交付税の財源の不足時、従来は国が国債を発行して不足分を補填していたが、平成13年度から、国債発行による補填をせず交付額を減らす方式に改められたのに伴い、臨時措置として導入されたものです。



減となっています。

一方、ふるさと納税関連の謝礼品、基金積立金等により、総務費が729万円の増となり、また、長期債元金償還金により、公債費が2706万円の増となっています。

平成29年度 会計別当初予算額 ()内は対前年度比

一般会計	43億3,698万6千円	(96.3%)
特別会計	30億9,236万3千円	(100.6%)
国民健康保険	16億6,474万4千円	(100.9%)
住宅資金貸付事業	37万5千円	(54.5%)
下水道事業	5,759万7千円	(81.7%)
農業集落排水処理事業	2億6,888万円	(105.7%)
介護保険	9億9,564万円	(100.1%)
後期高齢者医療	1億512万7千円	(101.2%)
水道事業会計	4億1,905万5千円	(94.7%)
総合計	78億4,840万4千円	(97.9%)

平成29年度の一般会計予算総額は前年度比3.7% 1億6,517万8千円の減額となりました♪

